



福山城築城400年記念事業 特別能公演

新作能 福山翁

江戸幕府は能楽を式楽として定めました。徳川秀忠から備後地方を拝領した水野勝成は福山藩の様々な行事に能を奉納したと伝えられています。福山城築城400年を祝い、野村萬斎氏を迎えて能の特別演目「翁」の上演と、福山市制100周年記念を祝い創作された新作能「福山」を6年ぶりに再演します。

福山城築城四百年記念事業

特別能公演

令和四年十月二十九日(土) 午後一時開演
ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ

能 翁

翁 大島 輝久

三番叟 野村 萬斎

千歳 野村 裕基

後見 深田 博治
中村 修一

大鼓 亀井 広忠

脇鼓 大倉伶士郎

頭取 大倉源次郎

脇鼓 清水 皓祐

笛 杉 信太郎

(休憩 二十分)

ご挨拶

福山市長 枝広 直幹

後見 塩津 哲生
狩野 了一

地謡

高林 昌司 高林 呻二
佐々木多門 大村 定
金子敬一郎 出雲 康雅
塩津 圭介 長島 茂

花の精 有木 彩乃
花の精 有木 清乃
花の精 原田可南子
花の精 原田佐和子
花の精 荒木 七海

シテツレ 阿部正弘の霊 大島 衣恵

後シテ 朱 雀 神 大島 輝久

前シテ 水野勝成の霊 大島 政允

新作能 福山

ワキ 旅人 御厨 誠吾

大鼓 谷口 正壽
小鼓 久田舜一郎

太鼓 梶谷 英樹
笛 森田 保美

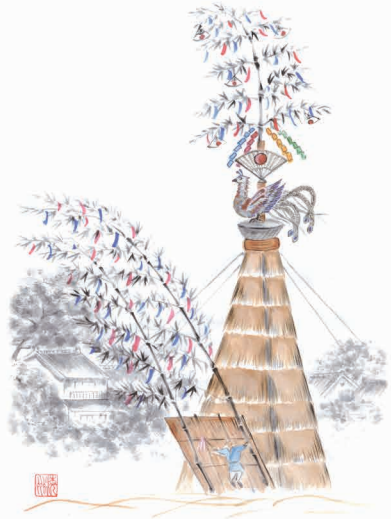
後見 高林 呻二

狩野 祐一
大島 伊織

地謡

園尾 英樹 塩津 圭介
奥田 浩平 金子敬一郎
吉田 道弘 長島 茂
原田憲太郎 狩野 了一
森 直樹 佐々木多門

午後三時三十分頃終了予定



曲目解説

■能「翁」

「翁」は、「能」にして能にあら
ず」といわれ、能・狂言のルー
ツとも謂われるまさに別格の
一曲です。どのカテゴリーにも
属さず、物語めいたものはあ
りません。神聖な儀式であり、
演者は神となつて天下泰平、
国土安穩を祈禱する舞を舞い
ます。観客も神事の参加者、目
撃者として、言葉にできない
領域に入ります。



撮影：政川慎治



■新作能「福山」

福山城を舞台に、初代藩主
水野勝成、幕末の藩主阿部正
弘が現代に姿を現し、その志
を人々に伝え、さらに福山を
守護する朱雀神が天空を舞
い、福山の未来と若者たちの
行く末を祝福する物語。
2016年、福山市市制施行
100周年を記念して創作初
演、6年ぶりの再演となる。
制作：喜多流大島能楽堂



■能楽とは

能は「謡」という抑揚のついた
詞で綴られた詩劇です。
能面と呼ばれる独特の面(お
もて)を使う仮面劇でもあり、
音楽劇・舞踊劇でもあります。
室町時代、足利義満將軍の手
厚い庇護を受けた観阿弥・世
阿弥父子が、それまであつた
猿楽や田楽などを洗練し、集
大成したものです。

能の演目の多くは、平家物語、
源氏物語、今昔物語など古典
文学、各地の伝説や神話を題
材としています。現在、上演可
能な作品として伝承されてい
る曲は250番ほどで、その
中の80番くらいが最もよく
上演されています。明治維新
後に作られた曲を新作能とい
います。

■能の音楽

能の音楽を囃子(はやし)
といい、四種類の楽器と謡
で5人囃子です。



太鼓

たいこ

大鼓

おおつづみ

小鼓

こつづみ

笛

ふえ

地謡

じうたい